

【施策評価調査】

施策名	1-5-1	公共下水道汚水管建設		80	施策目的 政策を推進するには、公衆衛生の向上、河川等の水質保全以上を目標とします。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	建設産業部上下水道課	担当	建設整備担当	リーダー	阿久津 幽樹
環境変化	特になし			施策内容 公衆衛生の向上と河川等の水質保全に向けて、宝積寺市街地の駅西第一土地区画整理地内及び宝積寺北区の一部に公共下水道の汚水管を整備します。	

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：公共下水道汚水管整備計画面積 宝積寺地区 (ha)	平成16年度整備済面積 宝積寺地区全面積:438ha 154.8ha	計画 実績	164ha 183.55ha	166ha 197.21ha	171ha 212.51ha	177ha	190ha
指標：公共下水道汚水管整備計画面積 仁井田地区 (ha)	平成16年度整備済面積 仁井田地区全面積:57ha 49.3ha	計画 実績	51ha 52.28ha	52ha 54.28ha	54ha 57.00ha	57ha	57ha
指標：		計画 実績					
指標に関する特記事項	整備済累計面積・率 (H21年度末)		整備済累計面積・率 (H22年度末予定)				
	宝積寺処理区整備率 223.44ha (438ha) 51.01%		宝積寺処理区整備率 227.85ha ÷ 438ha = 52.0%				
	仁井田処理区整備率 57.00ha (57ha) 100% (H20整備完了)		仁井田処理区整備率 56.91ha ÷ 57ha = 100%				
	合計 280.44ha (495ha) 56.65%		合計 284.76ha ÷ 495ha = 57.53%				

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	170,930,000	76,000,000	88,200,000	66,500,000	
	決算	212,415,000	227,589,500	160,982,700		

専務事業事前評価 22年度の組立て

施策傘下事務事業	事業費	活動指標(アウトプット)	事業の実施によって、施策達成にどう貢献しますか？(アウトカム)	今後の方向性(総合評価)	条件付継続
宝積寺処理区管渠建設費	H21 現計 66,500,000	整備面積 4.00ha	汚水管を整備することにより、多くの受益者が下水道への接続が可能となり、快適な生活環境づくりと河川等の水質保全が図られる。	今後の方向性(総合評価)	条件付継続
	H22 計画 40,900,000				
	H21 現計			今後の方向性(総合評価)	
	H22 計画			今後の方向性(総合評価)	
	H21 現計			今後の方向性(総合評価)	
	H22 計画			今後の方向性(総合評価)	
	H21 現計			今後の方向性(総合評価)	
	H22 計画			今後の方向性(総合評価)	
	H21 現計			今後の方向性(総合評価)	
	H22 計画			今後の方向性(総合評価)	

施策事前評価 22年度の組立て

自己評価	後期計画に向けた施策展開のビジョン		H22年度の狙い
	今後の方向性 現状水準維持	現在の下水道事業認可区域は、本年度末に区画整理事業地内を除き面的整備が完了するため、駅東幹線流入区域の内、継続性のある区域の事業認可を本年度内に取得し、引き続き面的整備を進める。また、整備にあたっては、多くの受益者が下水道を早期に使用できるよう計画的に、効率よく実施する。	
総合評価	継続的に施策展開されていると評価する。 後期計画に向け、多額の事業費を要することから、財政状況を勘案し、関連のある他の施策と調整しながら、下水道事業のトータルバランスを見極めた整備計画を検討すること。		